



【今回のお薬です】

2026年 2月24日作成 1頁 / 1

引換券番号 :No.0014

救急科

医師 岡本 悠一郎

フリガナ イワヒロシ

井上 弘様

- このお薬はあなたの症状に合わせて処方されたものです。ご本人以外の方は、使用しないで下さい。
- 残ったお薬は、事故の原因となりますので、すみやかに処分して下さい。
- お薬は、小さなお子様の手の届かない所に保管して下さい。
- 高齢者の方などご本人で保管・管理が困難な患者様のお薬は、ご家族など介護される方が適切に保管して下さい。
- お薬を服用していつもとかわったことがあれば、医師または薬剤師にご相談下さい。
- この用紙は処方せんではありません。お薬の作用・薬効、副作用、一般的な注意を記載しています。
- 粉薬は成分量を表示しています。
- 他の病院、医院で受診される時はこの用紙をお持ちになり、服用されているお薬を医師または薬剤師にお伝え下さい。

 長径 16.2 mm 短径 7.9 mm 厚さ 5.6 mm 一包化しています	お薬の名前	レボフロキサシン錠(500mg)						
	飲み方/使い方	1日1回朝食後						
	日数/回数		朝食後					
	5日分		0.5					個

効能効果 細菌を殺し、感染症を治す作用があります。

注意事項 ぼんやりする、意識がなくなるなどの症状があらわれることがありますので、自動車の運転など危険をとまなう機械の操作には注意してください。
市販のアルミニウムまたはマグネシウムを含む制酸剤や鉄剤などは、同時に服用するとこの薬の効き目が弱くなりますので、この薬を飲んでから1~2時間後に服用してください。

副作用 服用中、重症筋無力症の方では、症状が悪化するような場合は、すぐに医師にお知らせください。
服用中、じんま疹、冷や汗、顔面蒼白、息苦しい、発熱、皮膚が広範囲で赤い、水ぶくれ、目の充血、口内炎、けいれん、めまい、動悸、気を失う、むくみ、尿量が減る、関節痛、倦怠感、食欲不振、吐き気、意識の低下、皮膚や白目が黄色くなる、尿の色が濃くなる、のどの痛み、青あざができる、歯ぐきや鼻からの出血、咳、腹痛、下痢、筋肉痛、脱力感、空腹感、アキレス腱のはれや痛み、注意力が散漫になる、興奮、気分が沈む、不眠、背中の痛み、手足のしびれ・痛みなどの症状が現れたときは、すぐに医師にお知らせください。

【QRコード】

